

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	902 社会福祉一般事務経費	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	01	社会福祉費
		目	01	社会福祉総務費
基本 施策	03 高齢者などを地域や集落で支える環境をつくる	細目	183	社会福祉一般事務経費
		細々目	01	社会福祉一般事務経費
行革大綱の重点事項番号		7		
担当部課	コード	553000		担当者 氏名
	名称	伊賀支所住民福祉課		
		服部 代利	連絡先	45 - 9105 (内線) 242

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	地域福祉の推進……福祉施策に必要な市民(高齢者や障がい者等) ※対象件数
成果(どうする)	社会を明るくする運動を実施する保護司会及び更生保護女性の会の活動支援を通じて、高齢者や障がい者等が地域で安心して暮らせる。(地域福祉が充実推進される。)
根拠法令・要綱等	
開始年度	平成 16 年度
終了年度	平成 年度
H21 事業 内容	社会福祉一般事務経費 社会を明るくする運動を実施する保護司会及び更生保護女性の会への活動支援(愛の更生資金の募金活動・社会を明るくする運動実施委員会への参加・啓発パレードの実施)
社会情勢 の変化等	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
愛の資金募金額		円	目標	270000		
			実績	231000	247000	250000
社会を明るくする運動 啓発パレード保護 司・更女	回		目標	2		
			実績	1	2	1

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
社会を明るくする運動啓発パ レード参加者数		保護司会(5名)と更生保護女性の会(役員2名)で啓発パレード実施参加者数。	人	目標	5	5	5
				実績	5	5	5
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	143	111	119	119				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0	0						
一般財源	143	111	119	119				
事業投入人件費 (B)	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
フルコスト(A)+(B)	863	831	839	839				

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	○
有効 性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
達成 度	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
効率 性	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
効果 性	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効果 性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求められることができる事業である。	
効果 性	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
	昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	
	改善策	安全安心な社会作りのため必要な事業であるが、今後まちづくり協議会との協働化が望まれる。
昨年度 の取組 状況	【状況】	計画のとおり進んでいる
	【詳細】	保護司・更生保護女性の会による啓発パレード、伊賀管内の中学校を訪問し啓発物品の配布、また作文コンテストの依頼。自治会においては「愛の資金」としての募金

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	中林 千春
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 社会環境の変化に伴い、犯罪抑止活動は複雑多岐にわたっている。社会を明るくする運動は、全国的活動であり今後とも関係機関と連携し取り組む必要がある。
現時点における課題、その他	社会を明るくする運動啓発パレードのあり方
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	平成22年度、パレードの巡回コース等の検討を行う。